

「日本で最も美しい村」加盟に伴う今後の町の対応について

質問 連合加盟を一つの起爆剤として、将来にわたり地域づくり活性化に向け町の考えを伺う。

①今後の町づくりの中、町の活性化地域の振興策、小砂地域の支援について

②「棚田のオーナー制度」「里山の整備」「小口川堤防の舗装整備」について

答弁 ①町全体が連合に加盟したと考へ、町内入口に歓迎看板、横断幕、パンフレット、ロゴマークの活用等を考へる。

②農家民宿を基本に積極的に協力、里山整備は4か所の里山林の管理を行っている。小口川沿線の農道整備を継続し実施できるよう、国、県に對し要望している。

質問 小砂地区が自立できるまで



阿久津武之議員

「日本で最も美しい村」に加盟した小砂地区



の支援について

答弁 運営費補助とし25万円ほどと東京事務所負担金として10万円を町として考へている。

質問 研修会や総会への旅費や宿泊費の補助について

答弁 町で全額を補助するのではなく、地元と協議をしていく。

質問 里山林の整備事業を継続してもらいたいと思うが。

答弁 管理事業、整備事業等要望があれば取り入れ、管理事業については継続して進めたい。

質問 県道大山田小砂線について

は、現在未整備であるが、整備の計画があるか伺う。

県立馬頭高校の今後は

質問 地元の馬頭高校は町に對しての役割と利点について廃校になった場合、町内の児童生徒への影響、生徒を確保するため町としての支援や助成の考へを伺う。

答弁 那珂川町の活性化、また、全国唯一の水産専門学科があり休耕地を利用しホンモロコいの養殖等地域の活力を生み出している。廃校になった場合別の高校に行くことにより町に對し親しみを感じず、地元に残る若者が少なくなり、地域の活性化が図れなくなる可能性がある。また、生徒に對し遠距離通学者の補助や、下宿代の補助が考へられる。

質問 地元に残す場合、働く場の確保が必要と思うが、町の考へは。

答弁 6次産業など関連する雇用の場を創出して、就職できるよう考へます。

質問 水産科は、その特色を生かして全国から募集し、下宿先の提供も

馬頭高校は今後どうなるのか。



あると考へられるが。

答弁 一つの方法として検討します。

質問 県の検討会議の結論が出る前に、存続のため同窓会や商工会、行政等町を挙げて検討委員会を立ち上げる考へがあるか伺う。

答弁 検討委員会を立ち上げたいと考へている。

ここが聞きたい

一般質問！ 阿久津武之議員

Q 小砂地区の「日本で最も美しい村」連合加盟に伴う今後の町の対応について

Q 県立高等学校再編計画の概要が示されたが馬頭高校の今後について